

小学校英語教育と教育学部と私

帝塚山学園園長 富岡 将人

改訂小学校学習指導要領が、2年間の移行期間を経て2020年度から全面实施となります。改訂の最大のポイントは、小学校中学年に「外国語活動」、高学年に「外国語科」が導入されることです。

「外国語活動」は、現在5～6年生の高学年で行われているものを、3～4年生の中学年で行う訳ですから、これだけでも本当に容易なことではないと思います。ましてや小学校教育で初めての「外国語科」となりますと、算数や国語等と同様に、これを児童に指導し、評価しなければなりません。

このことから、小学校教員を対象に、今、様々な機関で「文部科学省委託事業」として英語研修会が行われ、指導のためのガイドブックや教科書の内容に沿った映像・音声資料等が文科省で作成しているようですが、果たして十分なのかどうか。

一方、これに呼応して、各府県等教育委員会の小学校教員募集で、英検2級等の資格保有で加点の優遇措置を受けられる制度等が多

く見られることに、私は強く興味をもちます。それは本学では2019年4月から、教育学部子ども教育学科を開設するからです。また、現在も現代生活学部子ども学科で毎年100人超の学生が入学し、幼稚園教諭や保育士以外に小学校教員を目指す学生も3割以上いるのですから。

そこで、今年度から教育学部開設予定記念事業と位置付けて、現代生活学部子ども学科の学生を対象に、「英語力向上講座」を外部委託（有料：日米英語学院）で設置しました。

なかなか好評で、1年43名、2年33名、3年21名、4年5名の102名とプラス私の103名が受講しています。

基礎文法からはじめ、使える英語力を習得し、英検2級以上の資格取得を目指しています。講座は、1レッスン90分で来年2月までの計27回。毎週土

曜日の午後には若い学生に交じってレッスンを受けています。私にとっては、実に40数年ぶりの語学学習です。

なかなか面白い展開です。



来春、教育学部が設置される学園前キャンパス18号館



開設された「英語力向上講座」